

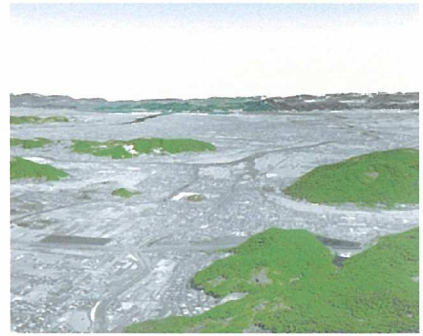
## 特定テーマ1に対する企画提案

市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

街を望む、街から見られる、緑と起伏ある屋根の組み合わせでつくる場所と景観のデザイン。岡山駅を初めて訪れる人も、ふだんの暮らしで使う人も、行き来を楽しみ、居たくなる緑と広場のデザイン。

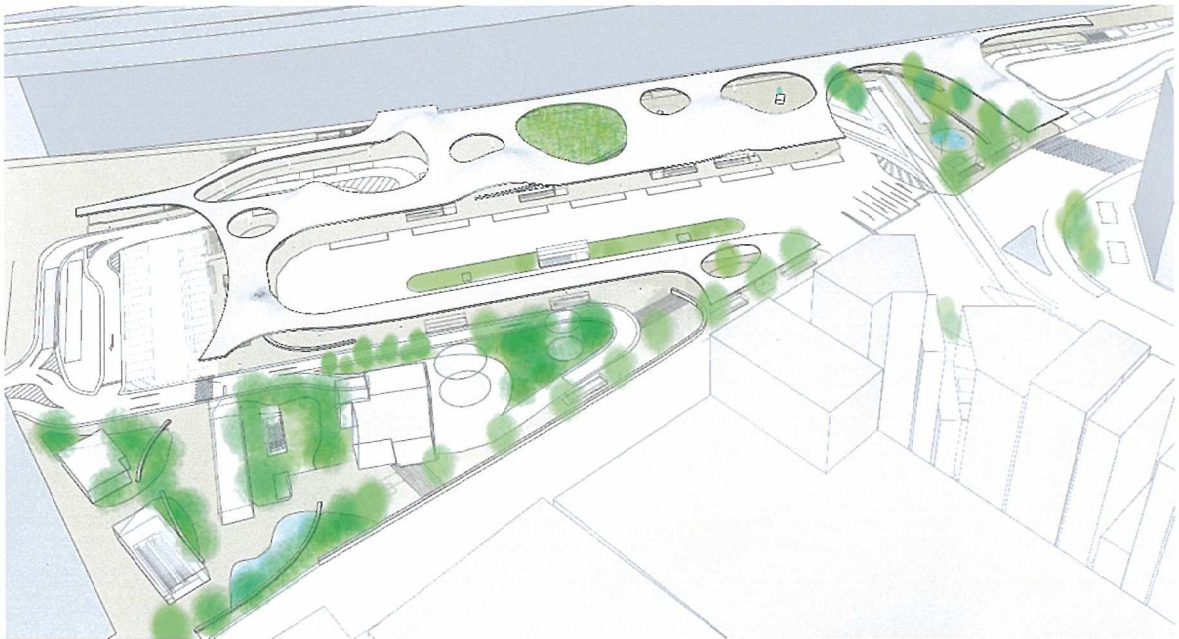
□ 水平面に浮かぶ島々や小山を思わせる 起伏あるひとつながりの屋根

吉備の穴海と呼ばれた海に浮かんでいた島々が、河川からの堆積や長年の干拓を経て、水平面に浮かぶ緑の小山となってある岡山平野。この風景を思わせる、おおらかな水平面に起伏のある大きな屋根で、駅前に岡山ならではの印象的で特徴ある、シンボルになる風景を創ります。



○ 駅まわりに一体的な印象を創るひとつながりの大きな屋根

岡山駅の東口広場全体にひとつの明確なイメージを形成できるように、広場全体に大きなひとつながりの屋根を掛けます。多様な交通と人の交わる広場の上におおらかに掛かる屋根で、駅前広場に領域性と一体感を作ります。



## 特定テーマ1に対する企画提案

市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

## ○ 島々や小山を思わせる起伏のある形

屋根にはいくつかの起伏を配します。それらが水平な部分とともにあることで、島々や小山の連なりを想起させる動きのある形が生まれます。鉄道高架の長い直線が強く、周辺も硬い形の建物に囲まれる駅前において、柔らかい曲線を持つ形は印象的で、岡山駅前広場の特徴となります。水平面とふくらみのシンプルな構成は、駅前広場のアイコンとも成り得ます。ふくらみの下には、天井の高いスペースが生まれ、屋根下の空間に抑揚をつくり、居場所や活動のありかを伝えます。

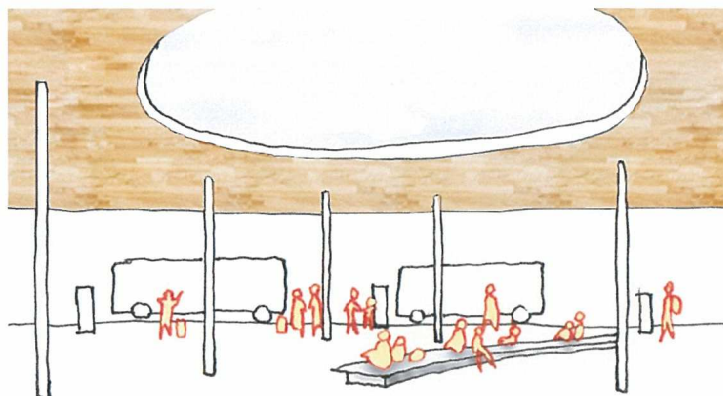


## ○ 岡山の木でつくる温かみのある空間

屋根の天井面は木を用いてつくり、上部構造材の軽量化を図ります。積極的に地域産材を利用し、それらの色合や木目がつくる風合いが、駅前に穏やかで温かみのある広場空間を作ります。

## ○ 晴れの国らしい光を取り入れる明るい天蓋

大きな屋根には、複数の孔を設けます。温暖な瀬戸内海特有の風土で、春秋は快晴の日が多く、冬の積雪もまれな場所だからこそ、屋根の大きな孔は駅前の機能を妨げず、光を取り入れて風を通し、明るく気持ちの良い広場を作ります。



## 特定テーマ1に対する企画提案

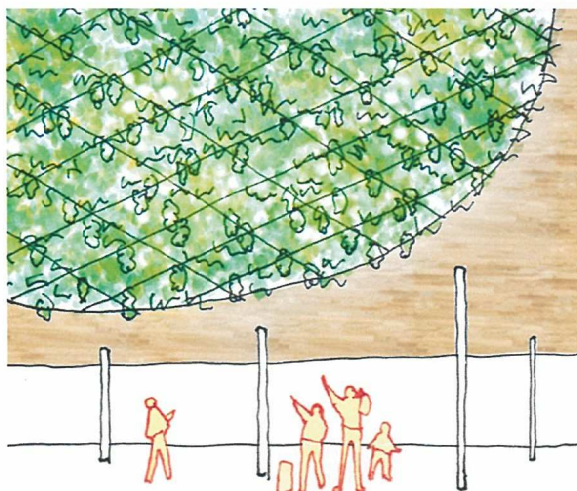
市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

## □ 3つの緑と動きのある噴水でつくる「水と緑」の景観

駅前広場に、性格の異なる3つの緑「ぶどうの棚」「電停の杜」「在来の森」を設けます。これらの特徴ある緑と、路面電車の動きと関連して動くアクティブな噴水で、駅前広場にここならではの变化のある豊かな「水と緑」の体験と空間を作ります。

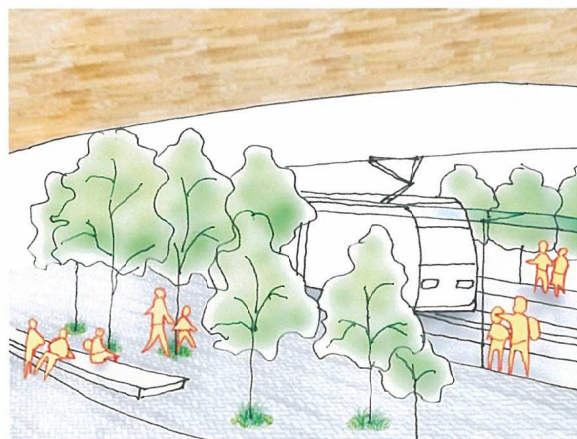
## ○ 特産品を印象付ける大きなぶどう棚

屋根の一部を囲いとり、大きなぶどうの棚とします。地域の特産であるぶどうの棚は、日差しの強い時期には風を通しながら、緑の美しい葉陰を作ります。夏の終わりに棚からたくさんのぶどうの房が下がる様子は、岡山のイメージを直接伝えてくれる、美しさとインパクト、環境的な効果を兼ねる、岡山ならではの緑陰の形です。ぶどうのメンテナンスや収穫も、広場への愛着を育てるきっかけとなります。



## ○ 新しい電停の杜

新しく広場へ乗り入れる路面電車は、広域の交通と地域の交通を直接結ぶ、街にとっての要となる結節点です。街の魅力のひとつである路面電車を、駅前でより積極的に位置づけ、電停の周りには都市的で軽やかな杜の姿を作ります。緑の森の間に路面電車がある広場は、動きの魅力のある、新しい憩いの場所となります。

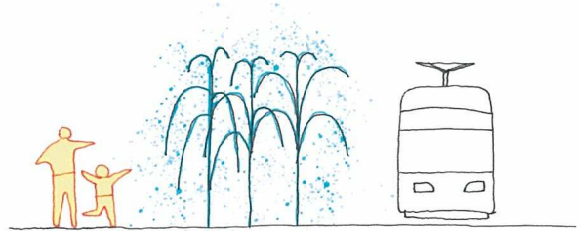


## 特定テーマ1に対する企画提案

市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

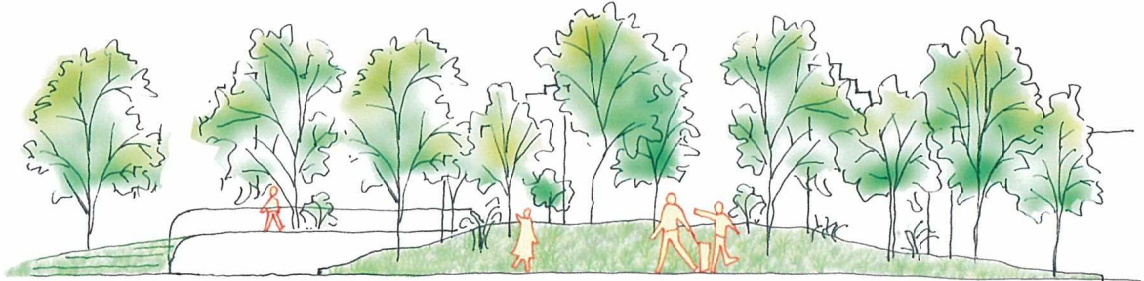
## ○ 路面電車と連動して動く、アクティブな水の景観

電停の柱には、舗装面から直接水の上がる水盤のない噴水スペースを設けます。噴水は路面電車の到着と連動して高く上がります。都市交通と水景観のアクティブな連動は、眺めても水に触れても楽しめる、広場の新しい魅力となります。噴水を停止して、イベントスペースにすることも可能です。



## ○ 岡山の在来の森

既存のケヤキや桃の木も活かしながら、岡山市域および周辺地域の在来植生で構成する、岡山の自然の森です。高木や中木を取り混ぜて、密度を保って植栽します。駅前広場の領域を作り、駅南側からの視線を緑で受け止めます。駅広場側からは、自動車交通量の多い市役所筋へのフィルターの役割も果たします。地域の人も、来訪者も岡山の自然風景の一部を感じることのできる、地域ならではの森の姿です。



## □ 新しい岡山駅のアイコンとして、夜の景観を作る

桃太郎大通りからの景観の中で、昼間は屋根の曲線と緑の集積が周辺とは異なる印象を作ります。夜には木の天井面をライトアップします。膨らみの内側が照明を美しく反射して駅前に柔らかく浮かぶ木の曲面が新しい夜景をつくります。



特定テーマ1に対する企画提案

市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

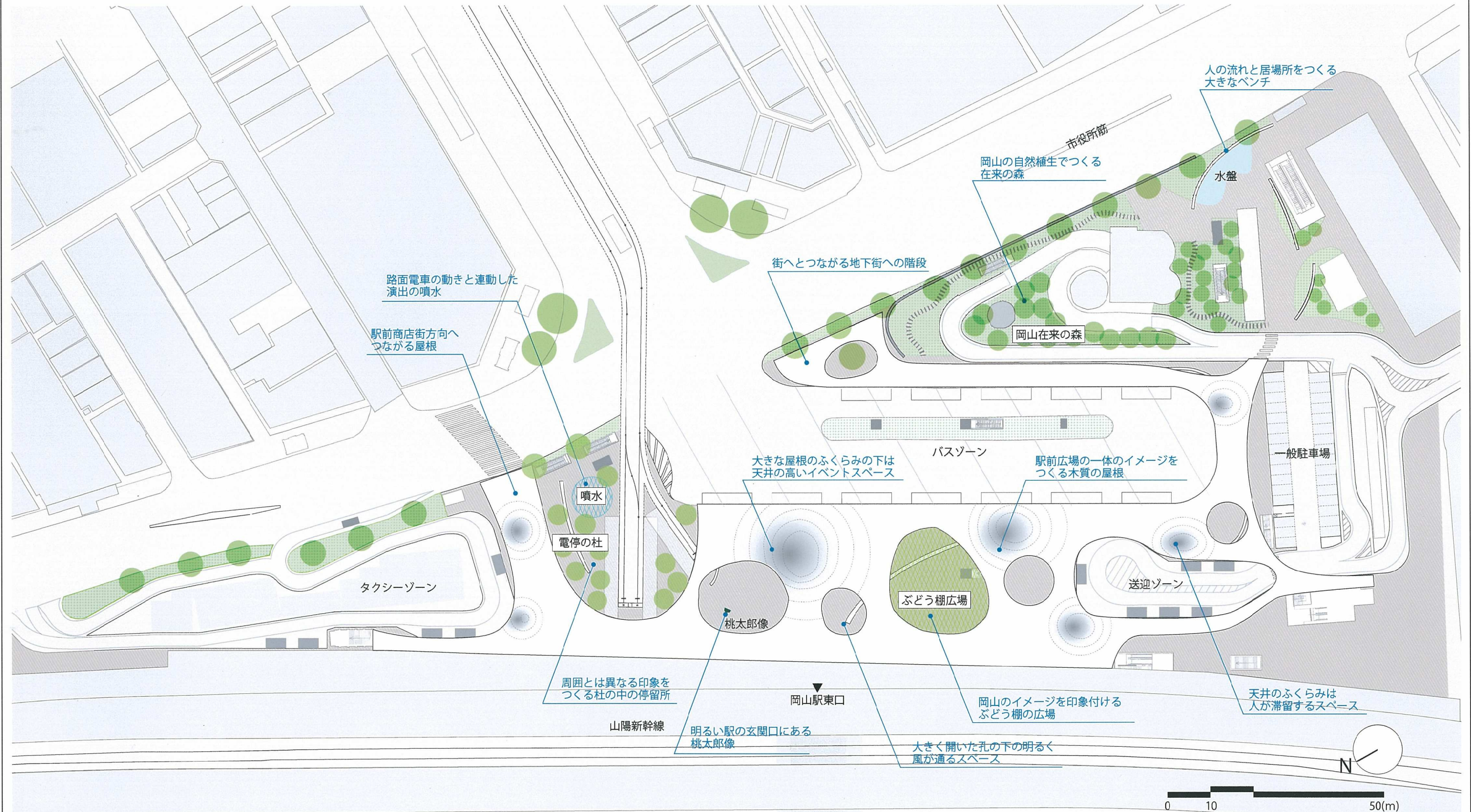


起伏のある屋根デザインにより駅前広場に一体のイメージを作るデザイン

概算工事費：20～30億円程度

特定テーマ1に対する企画提案

市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン



屋根伏図